

Q7. その他：時期、場所（基生研、遺伝研、CDBなど）、ホストの労力、宿泊手配、クレーム対応など何でもご記入ください。

ご意見

1. 時期的には分生学会の直前ということもあり、もう少し前が良かったです。大変刺激的なシンポジウムで今大会の運営にあたられた方々に感謝いたします。
2. たいへんお世話になりました。
3. 若手の発表は基本的に発表する若手が座長（話した人が次の座長になるなど）でいいと思います。その方が若手の議論がもっと活発になると思います。
4. 運営に携わった皆様に御礼申し上げます。
5. 場所はもう少し自由度が高い方がありがたい。ホストの皆さんには大変お世話になり、良い会に参加することができて良かったです。ありがとうございました。
6. 23時消灯は早いと思う。
7. 合宿形式（同じ宿に泊まり、同じ場所で食事をする）形式はとてもよかったと思う。
8. 時期は夏の方が有り難いです。10-12月は科研費申請、研究会、学会が盛りだくさんでキツイです。場所は、三島のような中途半端な場所ではなく、思いっきりアクセスの良い場所（CDBとか）か、逆にネット環境も全くないディスカッションに専念できる田舎のどちらかが良いと思います。
9. 今回の場所はとにかく缶詰状態だった上に、休憩時間があまりなく、かなりきつかったと思う。泊まり込みで集中するという趣旨はあるが、今回のようにいろんな分野の話を連続して聞かなければならない学会には向かないように思う。場所は、高級でなくてもよいのでホテルなどのほうが結局能率的だと思う。
10. 会場も宿泊もとてもよかった。運営委員やホストの方々は大変だったと思います。ありがとうございました。
11. 佐賀先生、学生さんらに多大な感謝を申し上げたいです。
12. 活発な討論のためには各人との距離が近くなるようもう少し小さい会場が望ましいのでは。あと、本質的でないと分かってますが、食事がひどくてももう少しどうにかできないかと思いました。
13. 発生学会を春にやるので、時期は秋でちょうど良いと思います。大会に関わった皆様にはお世話になりました。
14. 今回は凄く良かったです。オーガナイザーの相賀先生は大変労力を注がれたと思います。きちんと教育された研究室で、人員もいる研究室だからこそ出来たと思います。私のような研究室ではまだまだ無理かもという気がしました。でも若手数人でオーガナイズしていく気持ちも大切かと思います。嶋村先生は微妙な間柄と良く取り持っていたと感じました。また、これからこの企画を続けていってほしいですし、できれば場所はここで固定してもらえたらと思います。この意見は所属が関東だからかもしれませんが、東と西で行ったり来たりするのが筋かもしれません。でも、私の気持ち30%においては、昔の発生学会みたく、地方巡業していくのも良いのかもしれません。locationに関しては悩んでいます。
15. この様な会に参加するのは初めてだったのですが、非常に有意義でした。これからも、ぜひ続けてください。
16. 相賀先生 ありがとうございました
17. 今回のようにほとんど缶詰状態というのも、濃密なコミュニケーションが出来て良いと思いました。また、宿泊はシングルルームというのも、一人になりたい時はそうする事が可能で、良いバランスだと思いました。ホストの労力に関してはまったく頭が下がる思いです。世話人の数をもう少し増やしても良いのではと思いました。

18. 非常に楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。応募してみてよかった、また選んでいただけてよかったと感謝しております。
19. いろいろ勉強になりました。また行きたいです。開催下さりありがとうございました。
20. ホストの相賀先生研究室の皆様を始め、このような刺激的で興味深い会を開催していただいたスタッフの方々にはとても感謝しています。ありがとうございました。発表等の終了後の懇親の時間が、率直な意見を交わすのにとても重要な時間だったのですが、場所が少々狭くて移動がままならず、話ができる人数が限られてしまったのがやや残念でした。それ以外のほとんどの点で今回の会場は非常に良い会場でした。時期はちょうど良いと思います。
21. ホストの相賀研の皆さん、また、シンポジウムの準備を行って下さったみなさま、ご苦労様でした。研修所・宿泊についても、とても良かったと思います。